

里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

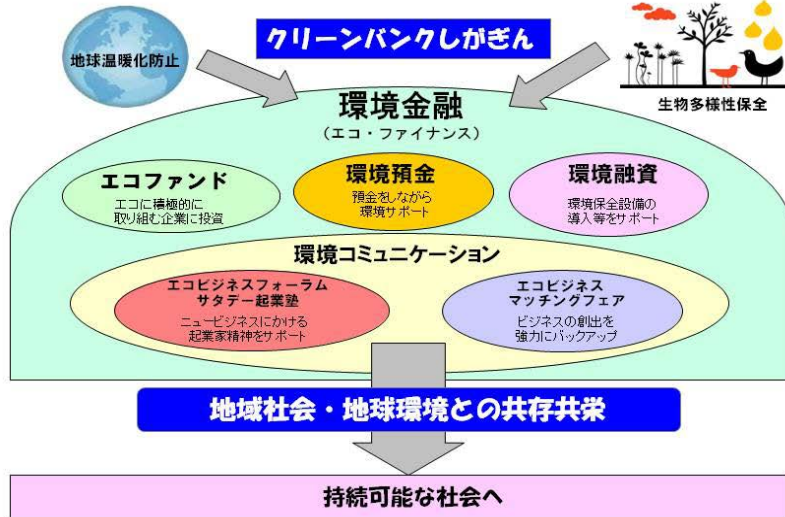
分類	多様な主体の連携・協働／保護・保全
手法名	「環境金融」による里地里山保全・活用活動への効果的支援
主体	株式会社滋賀銀行
背景(地域の課題)	<p>里地里山保全・活用活動に取り組むにあたっては、ほとんどのケースで資金面での課題を抱えている。また、企業が環境経営を検討する際にもコスト面が前提課題となることが多い。</p> <p>取り組みのモチベーションを高め、安定した活動運営を確保できる資金支援の在り方が求められている。</p>
手法／方策の詳細	<p>1)「カーボンニュートラルローン 未来よし」による自然エネルギーの導入促進と生物多様性保全への貢献(図1)</p> <p>滋賀銀行では、自然エネルギーの導入促進と生物多様性の保全に貢献することを目的として、太陽光発電システム等を導入する際のローンについて、既に実施している優遇金利幅に加え年0.1%の金利を優遇。</p> <p>また、太陽光発電システムの導入等で削減されたCO₂量を滋賀銀行が試算し、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種のニゴロブナやワタカの保護・育成・放流事業に資金を拠出している。</p> <p>2)「エコプラス定期」による学校ビオトープ活動への貢献(図2)</p> <p>ダイレクトチャネルを利用して定期預金を預け入れすると1回の預け入れごとに7円を滋賀銀行が負担して積み立て、貯まった資金を環境保全活動に役立てていく商品。これまで学校ビオトープづくりの活動資金として23校に累計1,079万円を拠出している</p> <p>3)環境格付(PLB格付)による企業の環境経営サポート(図3)</p> <p>PLB原則(Principles for Lake Biwa)として、①環境配慮行動を組み込んだ生産・販売・サービス基準、②環境配慮行動とビジネスチャンスの両立、③環境リスクマネジメント情報の共有化という3原則を策定。この原則に賛同する企業に対して環境経営の進展状況を格付評価。評価に基づき最大年0.5%の金利を引き下げている。</p> <p>4)「しがぎん」琵琶湖原則支援資金(PLB資金)</p> <p>環境保全に役立つ製品・商品・サービスの開発・販売に必要な運転資金や設備資金を融資する。環境保全活動に対し、貸出金利を最大で年0.5%引き下げている。</p> <p>5)生物多様性格付(PLB格付BD)</p> <p>企業活動において「生物多様性の保全等に対する配慮がされている」と判断し、「PLB資金」を利用される場合、PLB格付での引き下げ幅と合わせ最大年0.6%の金利引き下げが可能となっている。</p>
手法・技術的視点	<p>1)銀行の本業である金融面で里地里山保全活動へ寄与</p> <p>ボランティア活動だけではなく、本業として金融面で各種商品や制度を生みだし、継続的・安定的な里地里山保全関連活動への関与とサポートを継続させている点が着目される。</p> <p>2)取組成果の視覚化や顧客の環境行動を促すしかけ作り</p> <p>「環境格付」等を独自の理念に基づきながら実施。格付に応じて具体的な数字で金利の優遇を行うなど、企業等の顧客の環境行動を促進させるしかけが充実しており、地域企業における環境経営へのモチベーションの向上に寄与していると考えられる。</p>

実行プロセス・運営体制のイメージ

・滋賀銀行における環境金融事業の仕組み

「環境金融」の実践～「お金の流れで地球環境を守る」～

経済の血液である「金融」の役割を通じて、地球温暖化防止や生物多様性保全をはじめとする持続可能な社会づくりに貢献できる可能性は∞



3

図・写真資料

図1
②「カーボンニュートラルローン 未来よし」(2007年～)
～自然エネルギーの導入促進と生物多様性の保全～

環境保全に「志」のあるお客さまを応援

- 「太陽光発電システム」等を導入されるローンについては、すでに実施している商品ごとの優遇金利幅に加えて、さらに年0.1%金利を優遇
- 「太陽光発電システム」導入等で削減されたCO₂量を、当行が試算し、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ」「ワタカ」保護・育成・放流事業に資金を拠出

2007年度から総額870万円を拠出

引渡商品

事業内容	PLB資金(エコ・環境友好型融資)
対象業種	エコグリーン資金(エコ・環境友好型融資)
導入事例	エコ車融資ローン エレベーターローン(エコ車融資)

太陽光発電システム導入の報告

返済金利よりさらに年▲0.1%

サービスの流れ

図2
④「エコプラス定期」で環境学習
～小学校の「学校ビオトープ」づくりをお手伝い～

【事例】滋賀県教育委員会 滋賀大学

- 環境預金+環境学習+生物多様性保全(2003年～)
学校ビオトープを創出して、環境保全を推進し、環境教育を推進し、環境教育の場として活用
- 1校のお申し込みから、2校の環境保全活動にお役立ていただく。貯まった資金を環境保全活動にお役立ていただく商品。
- お客さまとともに環境保全活動をサポート
「学校ビオトープ(生物多様性空間)」づくりの活動資金として23校に資金拠出⇒拠出金額計1,079万円

「環境学習の場」として活用

「子どもたちの声」
「学校にビオトープができたので、見られるようになった！」

図3 環境格付(PLB格付)
～お客さまの「気づき」のツールとして活用～

①PLBへの賛同 ⇒ ②PLB格付を取得 ⇒ ③PLB資金借入

＜環境格付評価項目＞

①E1: E1: エコアクション実践数	グリーン調達・グリーン購入の取組
②E2: E2: 環境方針の策定	グリーン調達・グリーン購入の取組
③E3: E3: 環境方針の策定	グリーン調達・グリーン購入の取組
④E4: E4: 環境方針の策定	グリーン調達・グリーン購入の取組

2012年9月末実績
格付取得先 7,979先

格付内容をオープンにし、環境保全を促進！！

見えぬものを 見える化する！

参考資料

平成24年度里なび研修会in山口県パワーポイント資料(株式会社滋賀銀行)